

2019年1月26日、カルチャー日吉、土曜英検開催の朝。

今回の受講者は、すべて小学生。受験級は5級、4級、そしてさらに3級と。指導する立場の私のほうが逆に、「そんなに行き急がないでも・・・」と、引き気味でおりました。

朝の登室時間。元気に入室する子供たち

5級受験組は、初めての受験で緊張気味の低中学年生から、公開テストの場には慣れ始めている高学年生まで、入り混じっての受験でした。

毎度のことですが、テスト前の必要事項記入の時間は、子どもたちが一番戸惑うところ。この時間まではいつもの子供らしく、ちょっと自信なさげで、私の大好きな時間です。

が、テストが始まると子供たちは豹変します。もう、私の知っている子供たちの顔ではなくなる・・・勇んで挑戦するカッコいい顔に変身してしまうのです。

この顔を見るたびに、「いつかは私の手を離れ私よりもっともっと高いところへ送り出す日がくるんだなあ・・・」と。

時間はあっという間にすぎ、午後になると、4級、3級の受験の時間です。

今回の英検受験で、なにより私を驚かせたのは、3級受験者が一番多かったこと。そして、もう一つ。

当校の英検対策受講者だけでなく、ほかの講座を受講している小学生も、どしどし英検にチャレンジしてくれたことは、なによりも頼もしく感じます。「子供たちへの指導者」という立場にしながら、この日は、私のほうが「置いてけぼり感」を感じる日。それぐらい、子どもたちが頼もしく、勇ましく、そして力むことなく試験に臨む姿に、多くを学ばせてもらえる日です。

この頑張っている試験中の姿を、ご家族の方にも見せてあげられたら・・・それができないので、この場をかりて、こうやってご報告させていただきます。

パパやママたちは、とにかく子供たちの成績や普段の学習姿に一喜一憂しがちです。が、20年も子供英語講師を続けていると、確信があるのです。すべての子供たちが確実に着々と成長していることを。そして、いつかは、我々大人たちを追い抜いていくことを。

ですから、小学生で英検にチャレンジしてくれたことに、心から尊敬の気持ちと大きな拍手と、私のありったけのLOVEを送りたいと思います。

退室時にハイタッチとねぎらいの言葉とそして、ハグ・・・と思ったのですが、すべての子供たちに「それは、おかしいでしょ!!」と、大人びた顔つきで言われたので、やめておきました、ぐすん。

3級合格者は2次試験・・・つまり個別の英語面接へ進みます。当校でもその日まで練習を重ねてきましたが、みんな、笑顔で練習を終えています。あとは3月上旬の当日を迎えるのみ。

二次試験はそばにいてあげられないけど、みんななら大丈夫。自信をもって、顎をちょっと上にあげて、そして、大きな声で！表情は豊かに！いつものみんなを思い存分試験官に見せつけてきてください。私は、日吉からエールを送り続けていますから!!!



子供英語担当：Nami